

## (2) 質問 2

現在、国、地方自治体や関係団体等では、相互に協力しながら、携帯電話へのフィルタリングの導入の促進など、青少年を取り巻く有害環境への対策として様々な取組を進めています。

こうした点を踏まえ、このようにしたらより効果的な対策ができるのではないか、というご意見があれば記述してください。

我々の生活上携帯電話は必須のもの。幼児期・小児期に刃物等と同じで、使い方によっては(ケガ)をすることを厳しく教えることにより、大きな間違いは無いと思われる。

(群馬県・60代・男性)

親に携帯電話の履歴等の管理、監督ができるように対策を考え、管理、監督ができなければ、子どもに携帯電話をあたえないようにする。

(茨城県・50代・男性)

携帯電話は通信機能だけで充分。

(山口県・60代・男性)

通年的に有害対策として、キャラバン(コマーシャル)等の実施をした方が良いと思うし、又、法律の改正も実施し、規制をより多くした方が良い。

(岩手県・50代・男性)

まずは家庭にて十分な躰を施しておくことが、善悪の判断をさせるために重要と考える。例えば、携帯も必ずしも絶対悪とは言い切れないことからわかる。

(島根県・40代・男性)

有害サイトに対する技術的制限強化と罰則の強化が必要。

(愛媛県・60代・男性)

通話と特定の相手にだけのメール機能だけの携帯電話の発売。

(茨城県・40代・男性)

携帯電話の内容の規制。

(愛知県・60代・男性)

携帯電話のフィルタリングは必要。また、書店等の販売方法も検討の余地あり。

(熊本県・50代・男性)

大人(幼児の両親)に対する情報教育が急務だと思う。子どもを育てている大人がしっかり情報モラルを学習することで、次の世代に受け継がれ、文化として定着していくと考える(家庭教育の充実)。

(宮崎県・60代・男性)

有害環境への対策に限らず、どんな良い企画、施策であっても、それを受け止める側の国民一人一人の意識が希薄であっては、大きな効果は望めない。有害環境浄化の直接的な施策とともに、国民の意識を高揚するための施策が必要ではないか。

(群馬県・60代・男性)

有害環境への対策が、はっきり見えてこない。効果的な対策として、罰則を強化すること。

(大分県・70代・男性)

学校に講師を派遣し、講義して、周知させる。

(宮城県・30代・女性)

携帯電話に関して：酒や煙草は体に有害ということで、青少年に規制がかかる。有害情報を流す携帯電話も心に有害ということで規制をかけてもいいのでは。青少年の持つものには、必要最低限の機能を持つ機種に限るとか。

(鹿児島県・60代・男性)

地道な様ですが、やはり早期教育の充実を図るのが良いと思う。特に薬物、酒、タバコ等については、その害毒の実体を具体的に(ただ近づくなというだけでなく、どのような害があるかを)反復し教えてゆくのが必要と思う。

(愛知県・60代・女性)

フィルタリング等の知識について保護者が知らない、関心が低い等の状況がある。青少年健全育成の為に保護者等向けの啓発活動が必要。

(佐賀県・50代・男性)

電話だけでよい。

(愛知県・70代・女性)

携帯電話へのフィルタリングを導入しないで、興味本位で利用するととかと  
いうことになってしまいますという風なお知らせをする。

(山形県・50代・男性)

国、県、市町村レベルいずれかで施策として実施する。どのような取り組みを行ったかについて報告を求める。

(佐賀県・50代・男性)

青少年の指導はもちろんのことではあるが、親に対してインターネット等（携帯電話）の危険性をもっと知ってもらう工夫が必要である。

（愛媛県・50代・男性）

国が一人一人の個人番号で管理できるなら、ID番号で個人情報を把握し、未成年は入れない状況を作って欲しい。

（佐賀県・30代・女性）

フィルタリングの必要性が問われていながら、行政が法制化に動き出すまでの対応が余りにも遅く、今も内容が十分効果的とは思われない。大人の視点からの便宜性や欲望がそのまま青少年にとって有害環境となっている現在、保護者の指導では限界がある。行政は通信事業団体などへの理解を求め法規制を強化すべき。また、児童買春等の罰則強化は最も必要と感じており、コミック等の氾濫にも社会への悪影響が懸念される。

（富山県・60代・男性）

被害者にも加害者にもすぐになってしまうネット社会の恐ろしさ、親はもっとしっかり認識する必要がある。親の目の届かないところで、子供たちの情報交換の場があるということを理解し、小・中学生は居場所の確認ができる程度のシステムでよいと思う。

（新潟県・60代・女性）

フィルタリングの導入について、国・地方自治体のテレビコマーシャルによる啓発。

（長崎県・50代・男性）

高校生を含めた、小・中学生に対する携帯電話においては、フィルタリングの強制を促すようなシステムづくりが必要では。現時点ではいくらかの費用がかかるようですが、法規制のもとで無料化（青少年のみ）しては。

（和歌山県・60代・男性）

「いたちごっこ」になる為、難しい問題だと思います。

（愛知県・30代・女性）

フィルタリングの徹底：18才未満の者に対して販売する携帯電話は、全てフィルタリングを施すこととした方がよいと思う。

（東京都・60代・男性）

携帯電話を買い与える親や販売店が、厳しく有害サイトに入れないようにする。

( 島根県・60代・男性 )

地域に生きる実感をもっと持てる様「自分達の周りを良くする事は、自分の為にもなる事を理解する運動」を推進する。地域、みんなで考え、見つめ合う環境作りを町ぐるみで参加する様働きかける。

( 愛知県・60代・男性 )

青少年の健全育成のために、環境を整えることはとても大切です。効果的な対策としては、やはり 規則の強化 人間性の育成、の両面から取り組むことだと思います。 については青少年にとって有害と思われることは、大人が自信をもって規制することが大切です。

については、教育です。ただし、学校教育に任せるのではなく、テレビ、新聞などのマスメディアを使って大々的に啓蒙する必要があると考えます。

( 福岡県・50代・男性 )

子どもを守る(有害情報)全国大運動を実施する。

( 京都府・50代・男性 )

表現の自由には配慮しつつも、有害サイトは年少者が自由に見えてしまうという特殊性から、強い制約をかける法律を作るべき。

( 宮城県・50代・男性 )

有害サイトへ接続した場合、親へお知らせメールが入るとか。

( 愛知県・30代・女性 )

携帯電話を持たせるためには、親子で決まりを作る。なるべく持たせない。

( 佐賀県・60代・男性 )

文部科学省の小・中・高等に対する学校へ携帯電話の持ち込み禁止など、素早い行動が必要だと思います。また、具体的な取り組みについては、親と子供の対話、子供の生活に関心を持つ。携帯電話の普及により、友人関係がわからなくなり、普段から親と子供に教育していく必要があり、とても大切なことと思います。

( 東京都・50代・女性 )

学校で携帯電話での被害や、正しい使い方などの情報を授業の一環として学び、保護者は、フィルタリングの必要性を講演会や懇談会で勉強する。

( 広島県・40代・女性 )

フィルタリングの内容や、その手続きを知らない保護者が相当数いると思われるので、その説明会等を開催したら良いのではないかと思います。

(宮崎県・60代・男性)

電話会社では限界を感じてしまいます。まず、どうしても利益を追求しなくてはならないため、中学生・小学生には携帯電話は不要とは言えない。

(埼玉県・50代・男性)

18才未満は電話機能だけの携帯とする。現在の様々な機能の付いた携帯は18才以上とするような法律の制定が必要であると考えています。現在の携帯は青少年にとって、有害玩具であるので、県の条例等で持たせない、買うことができないように決定する。

(岡山県・50代・男性)

未成年者に対しては強制的にフィルタリングを導入することを行うなど、厳しい対策が必要と思われる。

(岡山県・50代・男性)

現在、県あるいは、県警本部に依頼すれば、出前講義を行っていただけですが、このような形を更に発展させていただければありがたいです。又、ビデオ等の視聴覚教材があれば、気軽に取り組みができますと思います。

(和歌山県・50代・男性)

小・中学生の携帯電話所持原則禁止(通話程度のもののみ認める)。高校生など18才未満はフィルタリングを施したものを許可する法令など。

(石川県・70代・男性)

現在社会では、相互連絡・協調・協力等が、ほとんどない。有害な商品を売出した後に対策、と後手で、ひとつの物を考えて世の中に発表しても、その他に色々の問題が出てくる。

(三重県・70代・男性)

児童レベルに合う指導、家庭での防止及び保護の啓蒙活動。

(栃木県・40代・男性)

小・中学生に対する携帯電話の使用の制限。高校生に対して、携帯電話の使用のマナーの啓発。迷惑メールの取り締まり。

( 富山県・50代・男性 )

有害サイトを発信しているプロバイダーを法律で厳しく取り締まる。

( 京都府・50代・女性 )

携帯電話のインターネットの廃止。通話だけにする。

( 愛知県・60代・女性 )

通話内容をチェック出来るシステムがあれば良い(親と子)。又は、通話を限定できる携帯へと移行すべきだと思う。便利すぎて、事件を誘導している家庭が多い。

( 奈良県・70代・男性 )

各社共同歩調での取り組みの促進。

( 山口県・50代・男性 )

使用者の年齢を考慮したフィルタリングの義務化。

( 大分県・50代・男性 )

とにかく有効なことはすばやく実行する必要がある。

( 京都府・50代・男性 )

現在市町村においては、小・中高校生の学校への携帯電話の持ち込みの禁止を行っているところもあります。こうした持ち込みを禁止する法律により、青少年を非行から防止することはやむをえないと思われま。

( 福岡県・60代・男性 )

未成年が見てはいけない雑誌の規制。

( 愛知県・70代・女性 )

日本の将来を担う青少年を育てるという観点で、携帯電話へのフィルタリングを法的に促進したらどうだろうか。もうひとつ新たな有害環境への対策を先手で打てる機関を設立・充実させてはどうだろうか。

( 青森県・60代・男性 )

フィルタリングの確認など。携帯会社より届きますが、販売時にフィルタリングされていれば良いと感じています。

(愛知県・40代・女性)

メディアを通して、例えば、シンナー・ボンド等の薬物を使用することで、身体に及ぼす悪影響などを広報する。

(東京都・50代・女性)

フィルタリング設定シールを作り、設定者の携帯に業者がはるようにしたら、啓発にもなるし、効果的ではないかと考える。

(熊本県・30代・男性)

青少年を取り巻く有害環境の効果的取り組みは、広く市民の理解を得ることが必要だと思う。それには、市民や親へのPRが必要で、研修会や講演会等を開催すると共に、業界へのモラルの徹底が必要です。また、サイバーボランティア指導員の増員等を図り、環境浄化や出会い系サイトでの青少年への注意喚起のメールを送るなどの積極的な取り組みを進めたらどうか。

(神奈川県・60代・男性)

保護者へのPR活動の徹底。未成年、特に小・中学生の携帯にはフィルタリングを基本(前提)とする。

(兵庫県・60代・男性)

出版物の自由はありますが、子供に悪影響があると明らかに分かる物は、出版社及び出し手に自粛していただきたい。または、その売り手となる方にも。インターネットも同様。

(静岡県・40代・女性)

青少年よりも、その環境を与えている大人・保護者への教育の実施。地域でのネット環境のアドバイザーの普及。

(千葉県・40代・男性)

青少年が使用する場合は必ずフィルタリングを義務化する。学校(小・中・高)で携帯、パソコンなどの有害サイトについて指導する。

(香川県・50代・男性)

地域の帰属性が失われつつある都会型社会においては、地育が無能化している。ここに期待することは、不可能に近い。従って、今や家庭教育を人任せにしないことが必要である。

(東京都・70代・男性)



購入時は全機の携帯電話へフィルタリングがかけられている状態にしておき、保護者（成人）の依頼で解除できるようにする。

（青森県・50代・男性）

年齢や発達段階に応じた携帯電話の機能を限定する。テレビ番組も内容によって放送する時間帯を決めたり、視聴者を限定する等の対策（18歳以上対象など・・・）。

（栃木県・50代・男性）

18歳未満への携帯電話の販売には、フィルタリングを販売店に義務付ける。

（東京都・60代・男性）

有害サイトはもちろんですが、子供達が運営するサイトも最近問題になっております。ブログ、掲示板、ミクシー、学校裏サイトなど、子供達の携帯アクセスのサイトはどんどん増えているのが現状下と思います。その中には、喫煙や飲酒の写真や不純異性交遊に繋がる情報等も紛れ込む事があるようです。これを把握するには、大変困難な状況だと思えます。そこで、子供達の作成するサイトを登録制とし、情報が集まるシステムにすることができれば、管理が可能となるのではないかと。また、子供達のアクセスログを自動的に収集するシステムができれば、おのずとアクセス分布が分かり、問題サイトの発見に繋がると思えます。

（沖縄県・60代・男性）

フィルタリングの導入を積極的に進めてもらうことや、警察等の積極的な関与が必要と考える。テレビ番組等での子供達に与える影響を考えた番組作りが必要。

（佐賀県・50代・男性）

小6の子が、今携帯がなくなればどうしますかの質問に、生きていけないと答えていました。このような状況の中で、親の責任をもっと重くしたり、また、法的に処罰するぐらいの事が必要。多すぎて駄目だろうけど。法的処罰の年齢を下げる。

（佐賀県・50代・男性）

未成年が使用する携帯は、必ずフィルタリングが必要だと思う。しない場合は、罰則をもうけるべき。

（青森県・30代・女性）

現在の状況は、学校等でも携帯電話の所持やフィルタリングサービスへの加入を呼びかけているが、様々なトラブルへの意識が低いため、あまり効果が出ていない。法律できちんと定められれば、効果があると思うが。ただ呼びかけているだけでは難しいと感じる。

(茨城県・40代・男性)

小・中・高生の下校時に学校の出入り口で、防犯や交通安全などを呼びかけている(定期的に)。

(青森県・70代・男性)

携帯電話を持つのは、時代のすうせいなので仕方がないが、サイトの指導、規制の強化をしっかりとやること。

(徳島県・60代・男性)

先日もTVで、専門のフィルタリングの会社が有害ネットを調べていたのを見ましたが、専門の取締り機関を増やす等、早期発見、対策を立てられる機関を作って欲しい。

(埼玉県・50代・男性)

青少年(18歳未満)に携帯電話を持つことを禁止すれば良いと思う。連絡の方法はいろいろあると思うが、学校とか街角とかに公衆の電話などがなくなったが、これが逆に不便になり、携帯に頼らなければならなくなったのではないか。

(富山県・60代・男性)

有害サイトを取り締まる為の法規制の整備が最重要である。

(兵庫県・60代・男性)

保護者の承諾を得ての購入であっても、未成年の子供に使用させる物については、販売店で規制するように義務付ける。法の整備が必要である。

(島根県・50代・男性)

学校の教室での携帯電話の使用制限ができる様にする。教室等の場所では、電波が届かない様にする等。

(広島県・50代・男性)

未成年ゆえに対面して会話することの豊かさ、難しさ、厳しさを学ぶべきで、大人が便宜上、効率的に使用する携帯とは、全く意味が異なる。ゆえに、未成年に携帯は必要最小限にするべき。友人と長携帯するよりは、直接会話する機会を大切にさせたい。

(香川県・50代・男性)

具体的な事例をPTA等の組織を通じて、より一層周知していくことが大切です。

(愛知県・50代・男性)

たばこの自動販売機は全廃してもよいと思う。24時間営業の店舗数を減らし、夜間子供達が外への誘惑をされないようにしたら良い。

(島根県・50代・女性)

学校・地域・社会の連携。企業への協力。

(愛知県・60代・女性)

相互に協力と言うところがとても難しいと思います。特に親の意識の問題も大きいと思います。フィルタリングの機能を作ったとしても、それをどれほど採用するか、家庭にかかってくるのではないかと思います。結局は教育、躾だと思います。悲しい事とは思いますが、何かを決めた場合、親や管理者に「罰則や罰金」がないと、なかなか進まない事だと思います。

(兵庫県・40代・女性)

有害サイトを運営している側に罰則を与える。

(栃木県・40代・男性)

内容の周知が充分でなく、フィルタリングという言葉自体が理解不足である。わかりやすい啓発と用語が必要。

(滋賀県・60代・男性)

地域ぐるみで子供を育てるという認識を高める必要があると思います。

(和歌山県・60代・男性)

家庭の教育力が低下し、家庭の責任で規制すべきことができなくなっている現状を踏まえ、携帯電話のフィルタリングなど強制力をもって進めていく必要を感じる。

(愛知県・50代・男性)

予防啓発という一次予防のみでなく、ひとたび犯罪を犯した少年に対する再発予防教育・治療も重要だと考えます。

(東京都・40代・男性)

警察官の増員。関連する法の整備（たばこ、ネットなど）。

（岡山県・30代・男性）

日毎に携帯電話による思わぬ犯罪や、いじめ、トラブルに巻き込まれる危険性が増大しており、被害にあったときにはどうすれば良いのか、使用時の心構えなどを学校、家庭で学習する機会を提供する。近々「NTTドコモ」を講師に迎え学習会の予定です。

（滋賀県・60代・男性）

携帯電話のサイト等は、青少年がすごく興味のあるものである為、学校等でも何度も注意する必要があるし、生安でも講話して欲しいと感じる。

（宮城県・50代・女性）

有害サイトの取り締まり規制。

（兵庫県・60代・男性）

携帯電話を小学生、中学生に持たせない運動を関係団体すべてで取り組む。

（岡山県・50代・女性）

未成年が携帯電話を買う場合は、有害サイトにつながらないような規制を義務付ける法令を作るべきだと思います。

（和歌山県・60代・男性）

子どもにとって本当に携帯が必要なのか。持たせなければならない状況をもっと考えるべきではないか。親との会話があれば必要ないこともあるはず。集団で啓発を行うためには、学校等での講演会など実施すべき。また、子どもたちが興味を引くような本や遊び、文化、スポーツなどの指導も重ねて行うべき。

（宮崎県・60代・女性）

地域団体、学校、家庭との連携が大変重要だと思う。特に、家庭内教育が大切。

（岡山県・50代・男性）

フィルタリング導入促進については、未成年者への有害なインターネットサイトを見られないように対策強化と保護者へのPRが重要で、まだ親の認識が甘いので、学校、PTAを通して対策が必要と考える。

（新潟県・60代・男性）

モデル事業の実施はすでに行われているが、実効ある取組になるよう、しっかり予算をつけ、チェック機能を活性化できるとよい。

( 島根県・60代・男性 )

機能凝縮。電話機能だけの携帯を18才未満には販売。

( 青森県・60代・男性 )

携帯電話を学校へ持ち込まないと決まりましたが、公衆電話が町から消えつつあります。昨今、いまだ高校生や中学生は列車の中でも、メールや電話を使っている人達を見ます。公衆電話の必要性も考慮すべきかと思います。

( 佐賀県・60代・男性 )

対策についても法律、政令、条令等で規制を設けるべき。現在日本は資本主義であり、様々な側面で青少年にも商業主義が入り込んでおり、この構造を見抜かないと、単なる対策では効果は出ないと思う。

( 茨城県・30代・男性 )

法律で規制すべきと思う。

( 茨城県・60代・男性 )

現在取り組んでいるのがもっともよい処置だと思います。出来れば子供達に携帯電話の所持を禁止するか、持たず代わりに子供達の親への指導教育が必要。

( 沖縄県・60代・男性 )

携帯電話：所持、年齢規制。年齢によるアクセスの規制。

( 香川県・60代・男性 )

携帯電話による、事件、事故が頻繁に起こる現状は、使用者責任もあるが、製造者にもあると思います。年齢に応じた電話機の製造、機能も必要のない物ははぶく等、メーカーの協力が必要だと思います。

( 三重県・60代・男性 )

年齢によるフィルタリング導入の強制。保護者への啓発と促進。

( 山口県・50代・女性 )

一層のフィルタリング導入の積極的な実施。有害サイトへの法的な処置の強化。

( 埼玉県・50代・男性 )

携帯電話のフィルタリングの完全導入を実施すること。保護者の意識改革。

( 徳島県・40代・男性 )

中学生までは携帯電話は所持を禁止する。携帯電話購入の時、ある年齢制限をして、必ずフィルタリングしたものを購入させる。

( 鹿児島県・60代・男性 )

未成年者には電話機能のみの携帯しか販売できない。

( 富山県・50代・男性 )

コンビニ、大型店など、24時間営業する必要があるのでしょうか。青少年の溜り場になるだけではないでしょうか。私の近くのコンビニは朝5時から夜11時までです。開店時は溜り場になりかけましたが、今、それはありません。

( 島根県・50代・女性 )

携帯電話の販売時に使用者の名を確認後、初めからフィルタリングを取り付けて、販売するようにしたら良い。

( 青森県・70代・男性 )

携帯電話は義務教育では必要ない。持たせるべきでない。

( 島根県・50代・男性 )

対応に追われている。もっと根本的なところでの取り締まりができないのでしょうか。これだけ被害が出ているのに、後手後手では、被害は防げない。

( 佐賀県・60代・男性 )

子どもを守る視点、教育の視点で、企業利益優先の風潮を打破すべし。教育現場からの発信をもっと強力にする必要がある。

( 鳥取県・50代・男性 )

小・中学生が使用するものについては、フィルタリングを義務付ける。

( 宮崎県・50代・男性 )

携帯電話会社への協力依頼。保護者に対する、子供に持たず携帯電話の危険性部分の教育。  
(和歌山県・60代・男性)

少年への有害情報の氾濫について、保護者の認識が不足していると思う。このことから、少年のネット利用における被害の状況などの啓蒙活動を一層推進する必要があると思う。  
(山梨県・40代・男性)

子供にスポーツをもう少し与える(スポーツの部活を増やす)。小・中学生、更に高校生まで携帯電話は持たせないこと。  
(山口県・70代・男性)

日本人固有の特徴のひとつに「罰は恐れて罪は恐れず」がある。モラルやマナーに頼るより、法整備を進め厳罰主義で臨む。「言論・表現の自由」の成りの果てが現在である。  
(鳥取県・50代・男性)

携帯電話のフィルタリングについては、販売・サービス提供業者の義務として、フィルタリング機能をつけるよう、法律で規制してはどうでしょうか。  
(福岡県・40代・女性)

携帯電話やインターネットのサイトを閲覧するときは、必ず住所や名前を登録してから見る。  
(東京都・30代・女性)

フィルタリングの導入方法等、知りたいが出来ない、方法が分からない・・・という親も多いと思います。身近な所でそれが分かることができればいいなと思います。例えばスーパーの買い物ついでに、そのような取り組みを体験できると難しく感じない気がします。  
(新潟県・50代・女性)

家庭環境にも左右されそうです。学校だけでは難しいので、何でも金さえあればどうかなる世の中ですので、物のありがたみがなくなりました。情報が知りすぎている感じがします。  
(宮城県・50代・女性)

商業主義と青少年の健全育成の間に確固たる信念の下、一線を画する。  
(青森県・50代・男性)

高校生までは単純な電話回線の携帯電話のみとしておくこと。また、一ヶ月誰と交信をしたか家族がチェックできるシステムをつくること。同時に、通話時間と料金も判るようなシステムを作ること。

(長野県・60代・男性)

未成年者の携帯電話の利用は禁止。

(愛知県・30代・女性)

未成年者の携帯電話は電話のみ。

(愛知県・30代・男性)

有害サイトの配信削除の携帯。

(愛知県・60代・女性)

フィルタリングサービスだけでは不十分。しかも、利用状況も好転しているとは言えない状況である。ケータイの所持や利用にも、またサイトのアクセスにも法的強制力のある(罰則のある)年齢制限が必要である。

(秋田県・40代・男性)

中学生(15歳)までの携帯所有の条件として、フィルタリングをつけることを義務付けて欲しい。

(山口県・50代・男性)

携帯電話の年齢規制。

(鳥取県・60代・男性)

全ての青少年にフィルタリングを導入するよう、学校や親への教育。

(山梨県・50代・男性)

携帯電話を買うときに、全部フィルタリングをしておく。外すためには必要な手続きをする。未成年が使うものは親がOKといっても外さない。

(山梨県・40代・女性)

国、地方自治体等の担当者は、夜を徹して現場を直接視察をし、実体を見るべきである。その経験を基により効果的な対策ができる。机上論や、現場を知らない方々の対策では、



よい環境作りはできない。申し訳ない言い方をすれば、お役所的な対策では、環境改善は出来得ません。もっともっと努力してほしい。

(東京都・60代・男性)

有害サイトを閲覧制限するフィルタリングの周知など保護者が情報を使いこなす能力を高める学習の場を設けてはどうか。小学校、中学校の入学時、高校の卒業時など(共働きが多く、聞く機会がない。プリントはゆっくり時間をかけて見ない)。

(愛媛県・60代・女性)

小・中学生には原則として所持を禁止する。フィルタリングを義務付ける。

(福岡県・50代・男性)

関係団体、地域への協力。

(愛知県・60代・女性)

規制強化等、個々の問題点の対応も必要ですが、人と関わらず済む内向きな傾向を、もっとコミュニケーションを育てるための健全な居場所を地域社会に作る。

(埼玉県・50代・女性)

小・中学生の学校への携帯電話の持ち込み禁止。

(宮城県・50代・男性)

学校に携帯電話を持ち込ませない。持ち込んだときの校則を厳しく。

(大阪府・40代・女性)

学校現場への持込禁止を徹底するため、携帯電話発見器の開発導入。

(岡山県・50代・男性)

国や団体から規制されても、また出てくる。要は心の問題であり、何でも簡単に手に入るとか、思えるしくみに問題がある。金で何でも買える、金が至上主義になってしまっている。

(静岡県・50代・女性)

有害情報をまき散らす人を厳しく取り締まることが大切である。

(愛知県・60代・男性)

子供達の安全確認について、携帯電話ではなくても、呼び出し（GPS）を取り付けて、個人番号により、今どこに居るか（4km～8km範囲として）子供の居場所が分かるようにすればと思う。

（千葉県・50代・女性）

やはり、今一番問題だと思われることが、インターネット・有害サイト等、コンピュータ関係であると考えます。もっともっと専門的に企業とともに取り組んでいただきたい。

（東京都・40代・女性）

中学生以下携帯電話の使用禁止（メールが気になって家庭で勉強や読書ができない）。

（群馬県・60代・男性）

自治体を中心に関係団体の連絡会を作り、情報交換をしたり、勉強会等をして、地域社会の人にも協力して、市や町全体で取り組み、法律で決めてもらうものが有ったら、国へお願いしたり、市等で条例を作ってもらったり、町一体になって有害環境をなくすことをPRするとよいのではないのでしょうか。

（東京都・60代・女性）

携帯電話を使わないということは、やはり考えられないことかと思います。「使うこと」を前提にして、使い方（ルール、マナー、落とし穴等の危険さ・良い点）を教えたり、話し合う場を設ける。スローガンだけでは何ともならないかと思いますので、事例をあげて話し合う場をつくることも必要かと思います。

（高知県・50代・女性）

小・中学生に対して何らかの法の規制が必要と思います。

（広島県・60代・男性）

安全面も考慮しなければならない時代なので、携帯電話を持たせたい親も多いと思います。ただ、その機能を小・中学生が持つ場合には、次のことしかできないような機種だけにしていかがでしょうか。家族だけの通話・メール、インターネットは不可、所在地がわかればOK。

（栃木県・40代・男性）

目に見えぬ相手という点で有害であり、悪質な物が多いのではないかと考えます。もっと発信元の情報公開をすべきだと思う。

（愛知県・30代・女性）

雑誌・出版物及び映像等は、利益重視的な事があるのではないか。作る側もどのような影響があるか検討した上で、世の中に出すべきではないか！

(愛知県・30代・男性)

青少年(特に小・中)の携帯電話に対する規制(機種など)の強化(法整備)。学校でも指導を継続しているが、実際に保護者は子どもの言いなりになって、買い与え、その結果モラル面などで問題が生じる。

(富山県・50代・男性)

有害環境へのアクセス疑似体験を保護者を含めた大人たちに認知してもらい、まずは実態を知ることから始める必要がある。

(福井県・40代・男性)

フィルタリングの徹底と同時に、携帯による安全確保という面も実際にあり得ることを考えると、その機能に徹した生徒用の携帯情報端末機器の開発をメーカーに要望すべきではないか。

(鹿児島県・60代・男性)

小・中学生には携帯電話は持たせない法律を作ってほしい。携帯電話をもたせる場合はフィルタリングを必ずつける。夜は携帯電話を親に預ける。

(千葉県・60代・男性)

フィルタリングに関しては親がインターネットの知識があり、協力的でなければなかなか難しい。

(東京都・50代・女性)

脳障害も心配される中、小・中学生に対する所持規制。又は、通話とGPS機能に限定した製品とする。

(秋田県・60代・女性)

18歳未満の所持する携帯電話は法によって必ずフィルタリング等の義務付けを行い、契約時にすべてつけるようにする。有害であると公的機関が判断したサイトなどには閉鎖措置をとる。業者に対して免許更新制にし、定期的に更新を義務付ける。成人雑誌等ヘア解禁になり、DVD等もついており、青少年にも簡単に手に入る。やはり法規制が必要では

ないか。テレビ番組での笑い番組で必要以上にいじめたり、殺人事件ドラマの増加、学園ものの服装等による影響がかなりある。法で規制することはできないか。

(宮崎県・50代・男性)

携帯電話をポケベルレベルの会話だけにし、メールやインターネットができないで子供には十分だと思う。

(東京都・40代・男性)

青少年への情報リスク教育が必要であると考える。

(佐賀県・50代・男性)

出会い系サイト等の使用ができないようにすると効果的だと思います。

(高知県・50代・男性)

中学生だけではなく、高校生も携帯電話の使用を禁ずる。

(宮城県・60代・男性)

青少年の携帯電話器使用禁止。国や県で青少年の規則について指導されることを希望する。

(青森県・70代・男性)

携帯について子どもに対するアプローチよりも、まず先に親と教師に対しての有害環境の実状を周知し、「待たせる責任」と有害環境へ落ちて行った際の「対応」を認識、または、学ばせることが急務であると思われます。

(北海道・30代・女性)

携帯電話については、全国でも学校に持ち込み禁止が出ております。その地方で異なると思いますが、父兄と子供、学校との約束をきちんと守ること。そのモラル(土台)作りから教育して行くべきである。

(山形県・60代・女性)

フィルタリングの義務付け等は、営業の自由との関連で課題は多いが、青少年の健全育成を社会全体で推進するためには、法規制等に踏み込んで検討すべきと思う。

(秋田県・50代・男性)

警察、少年警察ボランティア協議会、保護司などから有害環境指導委員を作り、研修会をやったり、地域の子供会や小・中学校へ出前講座をやる。

( 岐阜県・60代・男性 )

フィルタリングの効果は有ると思うが、しかし、他の情報が入手出来ないので、高学年になると外してしまうということも聞く。

( 神奈川県・60代・男性 )

小・中・高校におけるPTA活動を活用し、多くの保護者に対する啓発活動を行うことがまず考えられることである。中学校においては、中学校区青少年健全育成推進事業の活動として啓発活動を行う。

( 北海道・50代・男性 )

テレビ番組フィルタリングの強化。携帯電話サイト規制の強化。

( 東京都・20代・男性 )

携帯電話については、小・中学生については学校に持ち込むのを禁止する。もし持ち込んだ場合は学校側で帰るまで管理するように。

( 長崎県・70代・男性 )

PM11時以降の外出禁止。親の責任を問う。インターネット・携帯の有害サイトへのアクセスを親が確認。

( 茨城県・60代・男性 )

子供達と話し合う(毎日)。

( 山口県・50代・男性 )

行政機関等の取組も大切だが、何よりも親の子に対する愛情に問題がある。

( 滋賀県・60代・男性 )

学校においては、情報モラル教育をさらに進めていく必要がある。一方、家庭の教育力の低下が叫ばれる現状を考えれば、企業そのものが青少年を守るための策を打ち出していくべきである。

( 山形県・50代・男性 )

有害環境は何といっても、24時間営業にかかわるものと思われるので、自動販売機、コンビニ、カラオケBOX等、時間制限を何とかして設置するような対策が必要と思われる。

( 佐賀県・60代・男性 )

地域社会の連帯感（互助精神）。

（徳島県・70代・男性）

未成年者が使用する場合、購入段階で、フィルタリングを行う義務付けをすることが一番有効であると思う。

（和歌山県・50代・男性）

青少年の有害環境の全てに、蓋をする、見せない、聞かせないのは酷。そこで全ての蓋を取り除いて、青少年が考えている興味や好奇心に対して、悪影響を与えない様な指導教育が必要。

（山口県・70代・男性）

青少年に対する規制には、様々なものがあるが、携帯電話やインターネットでは規制の有無が不明であり、仮に有っても機能していないように思われる。青少年は大人と違うという明確な理念のもとに、規制を設けるべきである。

（島根県・60代・男性）

インターネット（やテレビ番組）のフィルタリングも考えてみてはどうでしょうか。

（広島県・50代・女性）

子供にいくら良い、悪いを説いても、大人がだめなら効果はない。家庭、親、大人に向けた啓発活動としてチラシ、パンフ等を繰り返し、繰り返し行う。今、実際にこれが少ない。家庭、親、大人に気づかせることが必要（そこまでやる）。大人の青少年に有害となる行為に対する処罰の強化（厳罰化）、その子の親にすれば屈辱で耐えられないような行為をされても、犯人は罰金とか、執行猶予の情状判決。これではいくら取り締まりをしても効果は薄い。大人の営利至上主義の排斥、現在不景気で気づかせるチャンス。

（群馬県・60代・女性）

文部科学省が、小・中学生の学校への携帯電話持込禁止という対策を打ち出してきている。一定の評価はするものの、対症療法的で根本的な解決には至っていない。子供には正しい判断力と適切な取捨選択能力等を高める指導をしていかなければならないのは論を待たないが、大人の責任について真剣に向き合っていく必要がある。携帯電話を所持させるならば、フィルタリングの導入をはじめ、利用状況（料金・通話記録等）を把握し、変化に敏感に対応していく責任があることを、啓発していかなければと考える。

（長野県・50代・男性）

小・中学生の学校での使用原則禁止(携帯電話)。

(埼玉県・60代・女性)

携帯電話やPCのフィルタリングの充実。サイト管理者に対する行政等の権限の充実。

(茨城県・40代・女性)

未成年が携帯電話を使用するには、フィルタリングを義務化する。

(秋田県・40代・男性)

有害の定義があいまいだということはわかっていますが、それにしても、ライン引きがゆるすぎますね。常識範囲内で許されるもの、ゆるされないものを決めて処罰の対象としなければならない。

(熊本県・50代・女性)

有害の実態の認識が、過激ゆえに、伝わっていない現実があるように感じる。

(熊本県・50代・男性)

青少年教育は企業の営利活動より優先されるべきであり、法的な手段を強化させる必要がある。ボーダレスにしてはならない。

(岐阜県・50代・男性)

携帯電話の販売会社に対して、18歳未満の方に販売するときには、フィルタリングをすることを義務化するように。

(佐賀県・50代・男性)

青少年の携帯電話を通じての有害環境は、通話やメール機能だけの時はこんなにも見られなかったと思います。携帯からもインターネットを手軽に使えるようになった為に、人目につかないところでの情報収集が可能になり、また無記名での書き込みにより、人目を気にしない行き過ぎた行動が、まだ成長途中にある子供達の善悪の判断を鈍らせている気がします。有害サイトへのロック等ありますが、結局は親の意識次第で携帯も与えられ、子供を信用しているという無責任な言葉でロックも外され、自由に使いこなしている子供達が大半ではないでしょうか。インターネットは大人になってからで十分だと私は思います。青少年達には有害サイトの教育も必要だと思いますが、まずは親達への教育が必要だと強く思います。

(東京都・30代・女性)

親の指導が大切だと思います。

(新潟県・50代・男性)

素人の感覚が生かせる方策をお考えいただきたい。

(東京都・60代・男性)

携帯電話については、接続業者は発信者データについて、きちんと掴む法整備が必要と思われる。子供が持つ携帯は希望により親が同時受信出来るようにして、学校に持って行ってもよしとする。

(愛知県・60代・男性)

携帯は子供に持たせる必要なし。その代わり公衆電話を各学校に1～2台は設置する。

(愛知県・60代・女性)

電話が繋がらない電波を流して、地下鉄、病院、公共の禁止場所では使用不可にする。

(愛知県・40代・女性)

携帯電話の内蔵機種が多すぎる。メーカーとの取組が必要(改善)。

(茨城県・60代・女性)

老人会、婦人会、青年会、町内会等にも呼びかけをしていく。

(徳島県・60代・男性)

学校・地域・家庭で携帯ネットや煙草の怖さを青少年に情報啓発する。

(岐阜県・70代・女性)

すべて家庭内の問題。地域と一体となって親の意識を変え、有害情報を子供に与える機会を減らす、健全育成のため。

(愛知県・50代・男性)

・フィルタリングについて：私事ですが、最近パソコンも携帯も始めたばかりで、子供もいるので早速フィルタリングをと思い、色々試行してみましたが、どこへ連絡し、どうすればいいのか良く分かりません。学校などを通じて、フィルタリングの意義や、具体的な方法などを載せた啓発のパンフレットを定期的に期間をおき(年に1回とか)、配布されれば、保護者が手続きしやすくなると思います。・レンタルビデオ店で、一般売り場にか



なり刺激的な商品（これも分類上は<一般>なのでしょうが）が並んでいて、子供の目につくのが気になります。できれば何か法的な基準を設けてもらって、刺激的な一般商品が成人向けに準ずる扱いになれば、子供達の精神上には良いと思います。

（宮城県・40代・女性）

携帯電話へのフィルタリングはNTTと協力の上、各地に於いて開催して居るものの、青少年の親の参加が悪い。

（秋田県・70代・男性）

ブログの書き込みを削除。

（愛知県・40代・男性）

青少年に対する有害環境への対策方法等を明示したパンフを一般市民に分かるように示してほしい。

（岐阜県・50代・男性）

小・中・高校生の皆さんへ、携帯を持たない勇気を持とう。保護者の皆さまへ、携帯を持たせない、愛で子供を守ろう。脱携帯・子供達を守ろう。関係機関が協同行動を起こし、周知徹底をする。

（群馬県・70代・男性）

使用するに当り、週一回程度の内容確認。拒否した場合には、料金設定を必ず行う。ネットワークP.Sは親だけで決める。

（茨城県・40代・男性）

教育委員会や地方自治体で学校への携帯電話持ち込み禁止を明文化する。また、18才未満には制限（フィルタリング）された携帯電話のみの販売を法令化する。

（熊本県・50代・男性）

各学校が携帯電話の学校への持込を禁止するなど、「勉強に必要ない物を学校に持ってこない」という基本的なルールを自信をもって徹底する。

（香川県・50代・男性）

携帯電話業界と連携を密にし、年齢とか6.3.3制に即した差別化された機能の電話を発売する。（電話機能のみで、ウェブサイトのない物など）。

（京都府・60代・男性）

取り締まる等しても効果はあまり無いと考えます。それよりも道徳や倫理観を半強制的に教え、教育し、“有害環境”に身を置くことの“おろかさ”を判断できる人間に育てようとする社会であるべき。(一言では言い切れません)。

(東京都・40代・女性)

保護者(親)「心配だ、心配だ」とは言っているが、具体的なことはあまりイメージできていないのが現状ではないかと思う。現在でも少し実施しているが、保護者(親)や地域の大人に対する講習会(危険度やフィルタリングの手法等)を何度も実施していく必要性を感じる。

(福井県・60代・男性)

徹底的に有害サイト、出会い系、アダルト系の接続不可にする。

(愛知県・60代・男性)

防犯(自分の身は自分で守る)意識を高めるために警察庁が進めている、いかのおすしの様な文言を考えてみてはいかがでしょうか。現在の青少年が悪い方向に走るのは、家庭教育力に寄る所が大だと思われるので、自治体の回覧板、広報紙等に協力を求めるのはいかがでしょうか。

(茨城県・60代・女性)

携帯電話を学校に持ち込みするのを禁止する。

(山形県・50代・女性)

青少年に対する重点も必要ですが、家庭を中心とした家庭環境への周知が大切であると思います。

(高知県・60代・男性)

有害環境への効果的な対策は、青少年に対する規制だけでなく、大人社会のモラルによる影響が大きいため、大変難しい問題である。とにかく大人社会を見直しつつ、地域社会が一体となって取り組んでいく必要性を強く感じている。

(群馬県・60代・男性)

学校での携帯電話禁止の徹底をする。地域の人々の見守りなど。

(山形県・30代・女性)

基本的にはモラルと教育の問題だと思いますが、現状では何等かの規制が必要だと思います。  
例 携帯電話の機能を通話とGPSのみに絞り込む。 ブログへの書き込みをした場合、自動的に住所、氏名が表示されるようにする。

(香川県・60代・男性)

かつては、地域が青少年の躰の場であり、教育の場でもあったが、現在は地域力が低下しているように思われ、地域力を向上させる人材の育成が必要ではとの思いでいる。

(石川県・60代・男性)

効果的な対策は思いつきませんが、子供の一番身近にいる親の教育力で少しは落ち着くのではないかと思われる。携帯やインターネットなどは親の許可のもと行っているので、まず親の指導からではないでしょうか？(契約の仕方など)。

(東京都・30代・女性)

薬物についての有害性や怖さ、法律上どうなるかとか、もっと義務教育(小・中学校)、更に高校の時から指導、教育を充実した方が良い。大学生の大麻使用等、軽率過ぎ、エスカレートしそうだ。チラシ・冊子の配布だけでなく、ビデオ等、年に1~2回見せたりして、怖さを子供に教えて欲しい。自分の体がダメになること。

(徳島県・40代・女性)

利用者が18歳未満の場合、フィルタリングの義務化。利用者が18歳未満の場合、メール以外のネット接続不可。小・中学校での情報教育を充実させる(人権教育も)。

(福岡県・40代・男性)

国や自治体、関係団体の取組には評価しますが、一番動いて欲しい、関心を持って欲しいと思うのは、青少年の親ではないかと思います。(青少年と呼ばれる子を持つ私をも含めてですが)もっともっと親、祖父母、地域(老人クラブ)などを巻き込んだダイナミックな取り組みが必要だと感じます。

(北海道・50代・女性)

小・中学生は学校での携帯禁止。国と自治体で有害環境対策として、法・条令整備を行うこと(強力なもの。売った会社と人と、実行した人両方への刑罰を備えたもの)。

(福岡県・70代・男性)

青少年に対して、タバコやお酒の販売は法律で禁止されているように、携帯電話も法律によって規制を強化すべきである。

(滋賀県・60代・男性)

青少年を保護する第一の責任は親にあるので、親、地域に対する啓発が必要。親や地域が連携して、子どもへの声かけや、毅然とした姿を示す風土づくりが大切だと考える。

(岐阜県・50代・男性)

家庭がこわれているのですよ。子どもが悪いのではない。親や政治家が悪い！

(福岡県・70代・男性)

青少年用の携帯電話の製造。

(和歌山県・60代・男性)

インターネット等サイバー犯罪の現状とフィルタリング対策の必要性について啓発活動。研修会、対象業界との連携、実態の理解。

(鳥取県・60代・男性)

今のところは、携帯電話へのフィルタリング導入の促進ではなく、高校生までは規制をするべきだと思います。それでも学校裏サイトやチェーンメールなど、子供たちに危険な環境はなくならないと思います。親子で携帯電話利用について、しっかりと話し合い、子供から使用方法などについて約束をさせ、家庭で規制強化をするべきと考えます。

(東京都・40代・男性)

携帯を所持する年齢制限をしたらどうでしょうか。15歳以下は駄目であるとか。

(徳島県・50代・男性)

フィルタリングについて、その有効性を周知しても、契約するのは保護者。保護者が子どもの要求を制限できる親子関係をつくらない限り、広く普及するとは思えない。(非行少年は、学校への持ち込みも使用状況についても親が止められない実態)保護者への強い啓発と業者と連携したある程度強制力をともなった規制をすることが必要。

(岐阜県・40代・男性)

子供自身が判断できるように、何が危険なのか、何をすればどうなるのか、きちんとした情報をしっかりと伝える。フィルタリングなど、受け手(有害情報の)側の対策だけでなく、送り手である、有害企業(出会い系サイトの運営会社など)の取締などを行う。

(大阪府・30代・女性)

未成年者が所持する携帯電話は電話機能しか認めるべきでない。フィルタリングを導入してまで小・中学生に携帯を持たせる価値観が理解できない。そのことの親としてのおろかさを啓発する必要がある。

(香川県・50代・女性)

携帯電話によるインターネットへの接続が誰でも可能になっている現状が問題である。国、公共機関の規制を根本的に取り組んで欲しい。

(京都府・50代・男性)

機器のうえでのセキュリティ対策。例えば、年齢判別の開発、使用。

(鹿児島県・50代・男性)

電話機能だけに絞った携帯電話の販売(本体価格や使用料金を低く設定する)。

(富山県・50代・男性)

自動車運転免許の様に、携帯電話・インターネットでも法的な枠組みをつくる。

(佐賀県・50代・男性)

青少年対策委員会などでも、フィルタリングの導入等の講演会が開催されています。出席者は常識ある方のみ。小学校、中学校の父母会などに出向いて、有害対策の必要性を説明した方がよいのではと思います。

(東京都・60代・女性)

現状フィルタリングは保護者が許可すれば、有害サイト等へ入れる状態である。青少年だけでなく保護者の意識改革も必要なのでは？

(高知県・20代・女性)

こういう有害サイトは、イタチごっこなので、逐一監査すべきものだと思っている。むしろ閉鎖権などを行使、持つべきものだと考える。

(神奈川県・20代・男性)

青少年の深夜徘徊のもととなるような深夜営業の規制ができるとよい。インターネットや携帯電話等人権侵害が行われているサイトを停止できるような機構が欲しい。

(静岡県・50代・男性)

小・中・高校生には携帯電話を売らないように、法的に対応できるようにできれば良いと思います。あるいは、電話機能以外のものがない電話のみとしても良いと思います。

(長野県・50代・男性)

携帯電話所持に関する規約の作成。

(岡山県・60代・男性)

継続して電話会社によるフィルタリングの普及の促進。新聞・テレビ等のマスメディア利用による広報。中高校等教育現場から、子供、保護者への要請。

(北海道・60代・男性)

自分が思っているようなことはすでに取り組みられていると思うが、再犯を防ぐため罰則の強化。

(大阪府・40代・女性)

子どもたちに正当な判断力を培うこと。親の背中を見て育つというように、いくら学校で読本のような道徳をやっても徒労である。未成年者に対する保護者の責任枠を拡大、明確にする。その上で家庭教育の充実を促す。

(滋賀県・50代・男性)

私にはインターネットや携帯電話利用での知識が無い為、対策は分かりませんが、サイバーボランティアの方の話聞いた時、有効な徹底した規制が絶対必要と感じました。

(千葉県・60代・男性)

保護者(大人)に対する情報提供を確実に行うこと。携帯電話にフィルタリングを。危険だからと言われるからという認識では甘い。何がどう危険なのかを教えないとただ携帯電話を買い与え、自由に使う親は減少しないと考えられるから。

(秋田県・40代・男性)

マスコミやIT関連企業など専門家の協力を積極的に求め対応する。

(愛知県・50代・男性)

有害サイトへの法的規制強化。

(北海道・60代・男性)

小・中学生用の携帯電話を作らない、売らない、持ち込ませない。

(高知県・60代・男性)

意外と携帯電話の機能を知らないで使用しているように感じます。特に新規購入の際には迷惑メールや裏サイトの危険性やそれらに対する対処法などきちんと説明をして販売して頂く。また、被害に遭いそうな時に相談窓口になる等、携帯電話を所有する入口の段階で少しでも防ぐ事ができないかと思います。

(広島県・40代・女性)

基本的に学校への持ち込みを禁止させたほうが良いと思います(我々の学生時代は携帯電話がなくても十分生活が出来たので)。

(宮崎県・30代・女性)

授業時間に組み入れる。

(熊本県・60代・男性)

早急にフィルタリングをお願いしたい。学力の低下に繋がるので、小・中学生は持つことを全面禁止にされたら良い。

(北海道・70代・男性)

特にありませんがフィルタリングは是非進めていただきたい。サイバーボランティアの活動が大きいと思います。

(愛媛県・60代・男性)

サイト(窓口)の縮小ができれば。

(茨城県・40代・男性)

有害サイトを発見次第取締りのできる機構が設置されているなら、誰からでも通知できるように常にメディアに明示する。

(大阪府・70代・男性)

フィルタリングに伴う不便を最小限に。ホワイトリスト方式にして、家族で話しながらはずしていくようにするべき。

(福井県・40代・男性)

携帯電話を持たせるのは基本的には保護者の責任であり、保護者が子供と使い方の約束をしっかりとするとともに、利用状況を把握する。学校や地域が一体となって、情報モラルの指導や啓発活動を推進する。

(滋賀県・50代・男性)

携帯電話を持たせている親の考え方が甘いのではないか。学校への携帯電話持ち込み禁止も当たり前となる様、はっきりとした態度を取って欲しい。

(埼玉県・70代・女性)

プロバイダーに対する規制。

(愛知県・50代・男性)

情報が蔓延する情勢の中でイタチごっこのくり返しでは効果があがらない。どの様なこわい犯罪に結びついているかの実態を学校、家庭でもっと子供達に知らせるべきだし、子供用携帯にインターネット接続は必要ないと思う。

(東京都・40代・女性)

携帯電話の普及も加速し、現在の環境として子供の携帯電話の要求に対し、両親共に管理が出来ない状況にある。携帯の販売時に親共々、携帯電話によるモラルや私生活に及ぼす悪影響等の周知徹底の方法を考案したい。

(茨城県・50代・男性)

携帯を与える親の側に対するフィルタリング知識を広めるために、あらゆる機会、例えば、免許更新などの際にチラシを配布する。

(山梨県・40代・男性)

携帯電話を例に上げると、これだけ国民の間に普及し、携帯でのメールのやり取りが若者の間ではコミュニケーションの中心となっている現在、後追い行政の典型的例として、小中学生の学校への持ち込み禁止、高校生の学校での使用禁止などは、10年間は遅きにしまった文科省の政策と考えられる。

(北海道・60代・男性)

未成年者の携帯電話購入に関しては、保護者の同意書を義務付け、その時にフィルタリングをかける。同意書は免許証等で確認する。

(山口県・50代・男性)



青少年を取り巻く有害環境への対策は、国、地方自治体、関係団体などが協力しながら行われていると思いますが、有害環境浄化の対象業者（組合など）も活動に参加してもらう方向に対策を考える時期ではないでしょうか？

（京都府・60代・男性）

18才未満の人が携帯電話を購入する際は保護者の承諾を義務づけると共に、有害なサイトへ入らないよう予めフィルタリングをした電話以外販売しないようにする。

（千葉県・60代・男性）

青少年へはフィルタリングを必要としない携帯電話の販売をして欲しい。

（鹿児島県・60代・男性）

携帯電話取り扱い店にて年齢確認の際に、有害サイト等の使用禁止の促進。有害広告物、看板、町にある諸団体に協力を求めて、定期的に巡回はがし、大型店に対して、店内立入協力を求めて巡回。

（奈良県・60代・男性）

携帯電話については中学生には持たせない運動を全国的に実施すべきである（高校生のノーバイク運動のようなもの）。実際に本校では実施している。

（鳥取県・50代・男性）

青少年の携帯電話契約の禁止。電話機能とその他の機能の区分と制限。フィルタリングの義務化。保護者の管理責任の明確化と厳罰化。

（宮崎県・60代・男性）

学校やPTA、地域の集会などで、もっと話し合う必要がある。また、私たち大人がもっと勉強する必要があると思う。

（青森県・70代・男性）

子供の教育は体罰が必要。

（山口県・30代・男性）

子供や親へ有害環境の認識やどういう事が問題かを学校で話し合ったり、教育していく必要性がある。

（東京都・50代・女性）

現在、地方、国で携帯電話のフィルタリングが進められているが、家族等の協力が進まずあまり効果がない。

(長崎県・60代・男性)

フィルタリング導入はもちろんですが、携帯電話の機能に制限をつけるようにしたら、効果的ではないか。必要最低限の機能だけにして、ネットなどはできないようにすると良いのではないか。

(岐阜県・30代・女性)

道徳教育の徹底。信賞必罰制度の正しい運用。

(茨城県・60代・男性)

携帯フィルタリングは大切、しかし携帯を持たないようにさせることが唯一の対策につながる。

(岐阜県・60代・女性)

携帯電話の購入や、カラオケBOX等の入場に年齢制限を設ける。

(茨城県・20代・男性)

若い親(母親)の方が余り知らないので、学校などで親対象の説明が必要と思う。フィルタリングの言葉でさえ知らない親が多い。

(長野県・70代・女性)

青少年に有害なものの情報を収集し、届け出る。「青少年有害Gメン」を地域の方に依頼されたいと思います。特に地方に有効だと思います。

(京都府・30代・女性)

この青少年問題に関して行政の一元的な組織による指示、要請が必要。現在は様々な行政の窓口から様々な要請があり、なかには似たような研修会への参加要請があり、地元の自治連合会だけの活動費の助成ではボランティアとしても限界があるように思います。

(京都府・60代・男性)

酒、煙草と同じく、20歳までは、所有できないという法をつくること。

(福井県・60代・男性)

子供は一番身近なTVから成長を始めている。TVでの番組、コマーシャル、常に子供達が見ているという感覚で責任の有る内容を作って欲しい。親の姿を見ている時間がもてないくらい親が忙しく働いている為、TVが子守り代わりに利用されている。昔と違い、肌の露出度が高く、羞恥心（親、親戚、兄弟、近所、友人）度が全く低い。それが全てに影響しているように思います。

（宮城県・50代・女性）

教育機関での指導だけでなく、家庭への責任を今まで以上に自覚させていく必要がある。

（長野県・50代・男性）

各方面からの取り組みを進めることが効果的と思う。法規制、全国PTA組織による申し合わせ、警察による出張（出前）授業、学校での情報モラル教育など、総力戦で。

（高知県・50代・女性）

テレビによる啓発活動の徹底。携帯電話の使用者年齢による強制的なフィルタリングの実施（法令による）。

（愛媛県・50代・男性）

保護者の啓発活動により関心を持たせる。

（京都府・50代・男性）

青少年の実態を十分に認識しないままの対応は効果があるとは思えない。実情をよく把握した上で、問題ごとに早急で適切な対応を考える必要がある。現状は後追い対策ばかりではないかと憂慮している。

（京都府・80代・女性）

携帯電話などは製造の段階で成人用、青少年用で区別して製造、販売すべきと思う。あまりにも企業任せで、利益追求のみがうかがえる。

（鹿児島県・60代・男性）

16才未満の子供が使う携帯は、電話は、メール、インターネットの機能の無い通話だけできる電話機を持たず法律を作る。

（神奈川県・60代・男性）

青少年の携帯所持が増加しているので、各家庭へ安易に所持（購入）させないよう広報・徹底をはかる。

(東京都・50代・女性)

中学校までは、特に、携帯電話は学校に持ってこないことをきちんと守る。国や学校で子供達にきちんとした教育をする。保護者も一緒に考え、教育を受ける所から始めるべきだと思います。

(福岡県・30代・女性)

携帯電話の販売店、メーカー等の積極的な活動参画。

(佐賀県・50代・男性)

教師、保護者に実際の有害な環境を知ってもらい、有害な環境に接した場合の対応につき、子供達に注意を行う。

(大阪府・30代・男性)

フィルタリングのPRを積極的にPTA、地域に広報し、より具体的にミニチラシや印刷物で、いつでも詳しく理解してもらおう様にする。

(大阪府・50代・男性)

情報ツールとして将来も、もっと活用されると思うので止めることはできないが、フィルタリングの強化と、所持年齢や場所(学校等)の制限の強化が必要。悪質な大人や業者や内容を規制する人やシステムを作り育てる必要がある。

(長野県・50代・男性)

物に対しての規制だけでなく、幼少時からのゲンコツ教育を実施しなければ良くならない。甘やかされた教育がダメにするのだ。

(山口県・60代・男性)

情報が多すぎる、家庭内での教育に力を入れる。

(東京都・40代・女性)

フィルタリング等も良いのですが、情報(有害)を発信する方への取締りを行う事も大切ではないでしょうか。

(鳥取県・50代・男性)

保護者の皆さんが感心を持つことが大切。小・中・高校生教員にインターネット、携帯電話の使い方の指導(研修会等)話し合いをする。親子での研修会など。

( 富山県・60代・男性 )

児童生徒の携帯電話は必要ないと思う。15歳未満の携帯電話販売禁止を企業に求む。スーパー、コンビニ等に万引きしにくい商品の陳列方法の指導と協力。性描写の更なる規制強化と取締り。

( 京都府・60代・女性 )

法律で青少年の行動を取り決める。

( 東京都・60代・男性 )

幼児の頃からの消費者教育が必要。親を教育するのは無理だから。

( 東京都・60代・女性 )

携帯電話の多様化から、年齢に対する機種の規定や、保護者に対する義務、罰則を定めたり、対策をはっきりして欲しい。

( 埼玉県・40代・女性 )

小・中学生に携帯電話は必要ないと思うが、通信の為の内容はまだ許せる。自動車やバイクが制限されている様に、年齢に従って機能を変化させたら良い。

( 長崎県・50代・男性 )

有害環境を造成するような事項に関連して、罰則を十分厳しくするための見直しが必要。例えば、諸外国並みの罰則基準を採用するなど。シンガポール、タイ、中国などでは、薬関係の違反者には通常死刑、もしくは無期が適用されている。少なくとも我が国においても、飲酒運転並みの罰則、つまり運転者と知って酒を勧めたもの、違反運転者と同乗したものに対する罰則適用のように、違反した本人だけでなく、その管理責任者(両親、学校長など)を共犯者として処罰すべきである。例えば、当事者の両親は本人共々、同様な体刑を受ける。また、学校長は学校法人の取り消しや、教育補助金などの支給停止など。また、それに関わった製造、販売関係者の検挙、処罰による営業停止処分などである。尚、上記の違反行為に限って少年法の適用外処罰とすることも必要である。

( 東京都・70代・男性 )

携帯事業関係者のモラルの向上(金儲けだけでなく、青少年を守る等の意識の向上)を図るための対策。

( 山形県・50代・男性 )

家庭への啓発を強める。子供を取り巻く関係機関が連携し、販売にルールを決める。  
(群馬県・60代・男性)

フィルタリングで有害情報への接続をブロックすること。  
(北海道・60代・男性)

携帯電話会社の公共性の自覚(利潤追求の考え方が過ぎないか?)。親の不勉強、危険認識の甘さ。  
(和歌山県・60代・男性)

企業の社会的責任において、商品の販売をしてほしい。  
(沖縄県・50代・男性)

携帯電話の校内持込禁止。  
(徳島県・50代・男性)

有害サイトの登録許可制。高い税とフィルタリングの促進。  
(福岡県・50代・男性)

有害サイトを開く業者などへの制限が必要である。携帯電話も多様な機能があるが、青少年へ機能制限したタイプのものをもたせることも必要である。  
(北海道・60代・男性)

携帯電話関連会社の指導員等の有効活用による相談事業、研修事業を推進するとともに、その場でのフィルタリングサービスを行うなど実践的な行動をとる必要があるのではないかと。  
(福岡県・50代・男性)

携帯電話を持ちたい青少年には通話、居場所のわかる機能のものとする。フィルタリングをしても、よく解除することが多いと聞きます。  
(大分県・50代・男性)

フィルタリング導入は是非早期に実施を願います。小・中学生の携帯禁止は、大変結構な事だと思います。  
(兵庫県・70代・男性)

言論・出版等々、発信者の権利が声高に叫ばれているが、青少年には、判断力が充分ではなく、新しいメディアによると、親や教師等の大人の知らないうちに、有害情報に接したり、被害者となることがある。もう少し踏み込んだ対策を望みます。

(岡山県・50代・男性)

家族の会話を大切にする。

(長崎県・30代・女性)

基本的に携帯電話を持たせない様にすればいい。持っていれば、フィルタリングしても防ぎようがないのでは。電話だけの機能にしまえばいい。

(茨城県・40代・男性)

・青少年だけに情報が行かないようにするには、どうするのが良くわかりませんが、対策の地域、家庭、学校への周知を皆が協力すること。・有害なものをバカらしいと判断できる子供を育てること。・利用する大人が、少なくなれば、衰退するのではないのでしょうか。

(静岡県・50代・女性)

社会教育の中で家庭教育の充実を取り上げていくべきである。

(山形県・50代・男性)

国が未成年者の携帯電話について、はっきりインターネット機能は無しにする規制をすべきです。

(茨城県・50代・男性)

携帯電話に依存度が高い子供は、親も同様に依存度が高い。啓蒙活動はまず大人にしなければ効果が上がらないと思う。

(愛知県・50代・女性)

特に携帯電話は親の責任において、管理指導が一番です。通話料金の制限等有効と思います。

(徳島県・60代・男性)

中・高生は携帯禁止。持つ必要ないと思う。

(鳥取県・50代・男性)

携帯電話、インターネットによる有害サイトを少年達も自由に閲覧できる状況であり、それに起因する犯罪があとを絶たない状況であるので、有害サイトを開設できない法整備が必要である。

(兵庫県・60代・男性)

携帯電話が普及し、子供たちまでもがインターネットを利用し、有害情報が入る時代になってきているので、法で規制したほうが良い(小・中学生)。

(岩手県・60代・男性)

マスメディア、インターネットなど、広く啓発を図ることができる手段によって、家庭や地域の教育力を高めていく。

(富山県・40代・男性)

学校への携帯持ち込み禁止など好ましい方向での取り組みが始まっていることは良いことだと思う。「このようにしたらという効果的な対策は思い浮かばないが、親への啓発がとても大切なことと思っている。

(山口県・50代・男性)

有害な事を隠すのではなく、親子で話し、有害である事の意識付けをしっかりと教えていく事が大事ではないかと思います。

(山口県・40代・女性)

青少年が実際に足を運んで、接する有害環境は減少しているようにも思われますが、インターネットを介した有害環境は増大しているように思われます。そこでパソコン、携帯への対策の強化が効果的に思われます。

(岩手県・40代・男性)

アナログ世帯の為、IT関係には、理解できてないことが多いので、良く分かりませんが、言論の自由等規制できない部分はありますが、興味本位あるいは有害な情報ではないかと危惧されるものについては規制されるべきであると思います。

(福井県・50代・男性)

保護者が有害サイトの状況を理解、知ることが必要。そのために保護者の勉強会が必要です。

(島根県・50代・男性)



携帯電話の迷惑メールやフィルタリングは、実際は機能していないのが現状です。電話機としての機能を落とさずにフィルタリングをかけていくのがベストだと思います。携帯会社にも期待しています。

(福岡県・40代・女性)

厳しく罰すること。

(大阪府・60代・男性)

様々な取り組みがなされ、各団体、地域でそれぞれ努力されているという認識はあります。一方でそのような取り組みが全然知られておらず、また、環境を整えることにも無関心な人も多く見受けられます。多くの方々への周知は難しいことと思うが、それぞれの自覚が大事だと思うので、何か方法があればよいのにと時々思っています。

(埼玉県・60代・女性)

NTT や au などの携帯電話会社においてフィルタリングをかけた状態で出荷し、フィルタリングを外したい希望者の年齢確認は厳密にするべきである。

(岩手県・50代・男性)

大人がまず問題意識を持つ。

(岐阜県・40代・女性)

青少年のみでなく、周囲の大人に対しての教育が欲しい。

(静岡県・50代・女性)

飲酒、喫煙と同様に、インターネット機能の利用も未成年者の使用を禁止してはどうか。そのために弊害を被る業者、業界の言分を聞くことはない。

(秋田県・60代・男性)

フィルターの内部を取り除くことが先決である。

(山口県・60代・男性)

販売されるハードの段階で差別化を図る(ケータイそのものの機能面の差別化)。購入時、年齢を証明できるものを提示する。

(岐阜県・40代・男性)

過日、文科省からの通知が出されましたが、大変効果的であったと思います。今後、中傷などの書き込みに対して厳しく罰する法改正も必要。

(滋賀県・50代・男性)

大変難しい問題ですが、青少年に携帯電話を持たせるのは親の責任なので、持たせる際に親にしっかりと責任の所在を明らかにする誓約書を書かせるとよいのではないのでしょうか。

(福井県・50代・男性)

有害情報の発信源の法的摘発を強化する。法改正が必要となる場合もあるだろうが、積極的に対処することが必要。

(広島県・50代・男性)

携帯電話については国民的運動を起こし、未成年者への販売等について規制をかけるべきである。と同時に、インターネットの使用方法についても、もっと真剣に取り組むべきである。

(茨城県・50代・男性)

携帯電話をなくす事が一番良いと思うが、年齢制限をもうけたら良いのではないだろうか。又、学校等の入口に一時預かりをするなどしたら良いのではないだろうか。

(鹿児島県・50代・男性)

各家庭での道徳教育。

(茨城県・40代・女性)

大人の雑誌は青少年に売らない。

(愛知県・60代・女性)

子供に携帯を持たせている保護者の責任をもっと明確にし、違法性のある使用があったりした場合と罰則も含めて検討すべきではないか。

(栃木県・40代・男性)

携帯電話のフィルタリングについては、ある程度の強制力(未成年者が持つ携帯電話については選択性ではなく、必ずフィルタリング機能をつけるなど)を持たせる必要があると思う。また、携帯電話の学校への持込については、各学校独自の判断で決定するのではなく、各教育委員会単位、または、国で規制のルールを作成して欲しい。また、不審者対策のため、携帯電話の学校への持込がどうしても必要ならば、携帯電話会社にメール及びイ

インターネット機能のない通話機能とセキュリティー機能（居場所検索機能等）のみの携帯電話普及をお願いしたい。

（香川県・50代・男性）

携帯電話・コンピュータについての学習を小学校から実施する。NTT等利益を得ている会社、企業にその責任を負ってもらおう。コンビニ等、大量販売店には、商品管理を責任をもって行うよう指導すべきである。

（富山県・50代・男性）

現在、自分達の子供がどんなに複雑な立場にあるかを深く理解し、父母、学校、地域との連携が大事だと感じます。

（山形県・60代・女性）

罰則の強化。

（大阪府・40代・女性）

子供に対しての親（保護者）の指導等、親（保護者）に対する行政側からの指導。

（栃木県・60代・男性）

深夜10時以降の店舗の閉店。

（岐阜県・60代・男性）

保護者は携帯電話を単なる電話や、所在位置確認に便利な道具であるという認識にとどまっている。また、その利用の実態も十分に把握できていないのが現状である。この事からまず、保護者に子供達の携帯電話の利用実態を知ってもらい、情報モラル教育を家庭でも協力してもらい、学校に持ち込ませない協力をお願いする。学校においても携帯の危険性を教え、情報モラル教育を充実させる。

（和歌山県・50代・男性）

インターネット社会の便利さは、危険であることを身に着けて貰うよう学校での行事等を通じて、児童、生徒や父兄らに対して緻密な啓発活動を行う。

（秋田県・60代・男性）

青少年が使用（所持）できる携帯電話自体を規制すべきである。つまり電話、メールのみの機能にするなど、サイトを見られない機種に限定するなどにはしないと必ず有害になってしまう。

(岩手県・40代・男性)

携帯電話会社の取り締まりから、校則レベルでの制限、学校教育などの研修の強化。

(愛知県・40代・男性)

有害サイトのフィルタリングを徹底させるとともに、有害サイトに対する罰則を強化する。有害サイトにアクセスできないようなパソコンを開発する。路上での取り締まりを強化して、ティッシュなどの広告物の中で、青少年に有害なものを配っているものは、取締りをするようにする。

(東京都・40代・女性)

有害情報発信者への法的罰則の強化。繁華街のパトロールの強化(民間団体への委託)。

(宮城県・60代・男性)

有害広告物、チラシなどを設置。または、配布者への取り締まりや罰則の強化。

(福島県・50代・男性)

どのような対策をとっても抜け道はあるように思う。大切なのは、青少年への教育の徹底であり家庭・保護者への啓発であるように感じる。

(徳島県・50代・男性)

やはり、小・中学生は、学校持ち込み不可が良いです。電話機能のみの機種で、充分だと思います。

(京都府・30代・女性)

通話だけの携帯電話にしてほしい。

(愛知県・60代・女性)

家族での対話。家族全員で食事。

(愛知県・70代・男性)

携帯電話機メーカーによる過剰な機能をつけない機種の開発。18才未満の少年にはそういう機種しか売らない。

(鳥取県・60代・男性)

子供が携帯を持つ前にしっかりと話し合いをして、ルールを決める。うちの子は大丈夫と思わず、情報を集めて、親も与えっぱなしで放っておくことのないように、心がけることが大切だと思う。

(愛知県・50代・女性)

中学校区内の小さな自治会単位で、地域の人と小・中学生を持つ保護者が集まって、話し合いを続けながら、携帯電話について共通理解を図り、実践活動を進めて行く。

(長崎県・60代・男性)

青少年が携帯電話が必要なのか疑問を抱きます。

(山口県・60代・男性)

中学校への携帯持込禁止！シンナー缶等への盗難防止と管理強化の為、生産時からの管理番号表記による管理責任者の確認。

(熊本県・50代・男性)

青少年を有害な情報から守ることは大変難しいと思います。どのような規制をかけても、そういった業界の人は、規制にかからない方法を考えだしていくからです。だからといって、何もしないのも問題です。一定の規制をかけつつ、保護者や学校、地域で子供達を守って、いくしかないと思います。有害情報については、このモニターのように、気軽に報告できる制度が充実していると、多くの情報が集まり、規制にも役立つと考えます。

(山梨県・40代・女性)

家庭へのコンピュータの普及、小・中高生への携帯電話の普及が進み、子供達がインターネットや携帯電話を気軽に利用する機会は増えており、今後もこうした傾向は止められないと考える。有害サイトやプロフ、ブログなど大人社会が生み出した環境であり、有害サイトの取り締まりや、携帯電話のフィルタリング等、あらゆる手段で対策を推進する必要がある。

(香川県・50代・男性)

ポルノ雑誌を売らない。

(愛知県・60代・女性)

厳しく取り締まる。

(愛知県・40代・女性)

我校では「今の私に携帯電話はいらない」というキャンペーンを行っている。「顔を見て、目を見て、話せばあたたかい」という標語もできた。要は生徒と教員が信頼しあい、成長をすれば、「持たない」方向へ進めることも可能（本校携帯所持率17%）。

（長崎県・50代・男性）

年齢制限を設けて販売時に強制。

（富山県・60代・男性）

講師を招聘し保護者、生徒（児童）、教職員を対象に携帯電話の正しい使用方法について共に考える機会を設ける（毎年1回程度）。

（徳島県・50代・男性）

フィルタリングについては、京都市のPTA人づくり、21世紀委員会等で販売店への要請、署名行動をして成果があった。

（京都府・50代・男性）

親が毅然として駄目なものは駄目とすべきです。業者等の言うことを聞く必要はないと思う。

（栃木県・60代・男性）

最新のゲーム、IT機器に対し、親より子供の方が詳しい。親が意識して対策するのは無理なので、早目に法的な規制をする。

（栃木県・60代・男性）

本来は家庭内で指導することが一番で親の義務である。学校において、小学校の早い時期より子供達に対し、定期的に指導を実施。中学・高校においては、関係者が学校に出向き、実例を挙げて実施。しかし、プリント等の配布によるものは実感がわかない。危険恐怖が感じられる短編ドラマによるビデオ上映。体験とその結果、どのような危険性があるかというものを生徒たちに興味を持たすために、視覚で訴える映像が効果的ではないかと思われる。

（山口県・40代・男性）

地域コミュニティー単位での声掛け。周りは見ていると言う意識をもたせる。

（岩手県・30代・男性）

中学生以下は通話（メール）しかできない携帯電話を販売する。親は中学生以下には携帯電話を与えないよう啓発をする。

（徳島県・50代・男性）

18才以下（or 15才以下）の未成年が使用する携帯へのフィルタリングの義務化。飲酒・喫煙については罰則強化。保護者への罰金等。小・中学生の喫煙についてもあまりに規制がゆるい。

（東京都・50代・男性）

携帯電話は多機能にせず、発信着信のみにし、必要最小限にして、それを青少年に使用させ学校への持ち込みは禁止とする。業者が商業主義に走りすぎである。

（熊本県・70代・男性）

青少年の事件のほとんどが、携帯やインターネット絡みなので、これからの日本を託す大事な命を守る為にも、大人の強い意志で対策を進めてもらいたい。国も協力してくれる団体にはもっと助成するべきです。しっかり予算を出してほしい。

（東京都・50代・女性）

年齢認証を防ぐ方法が今現在ないので、例えば、青少年が携帯でのインターネット（18才以上かどうか、本人でないと分からない）を活用できないように、各メーカーの協力が必要。メールのみの使用は可か？

（山口県・30代・男性）

メールについては、必ず正しい使い方ができるように、発信人が分かるようにすること。

（愛媛県・50代・男性）

各種有害性について、一般人、特に、少年や保護者等は実情を良く知らないなので、わかりやすい広報を広めて欲しい。

（高知県・50代・女性）

非行の低年齢化が問題になっています。小学生に非行や犯罪の恐ろしさを教える事も大切だと思います。非行の予防のため、経験のある警察ボランティアを定期的に小・中・高に派遣し、親の相談や子どもの悩みを聞いてあげる窓口を作ってみてはどうでしょうか。

（広島県・40代・男性）

小学生、中学生の携帯電話所持は禁止。高校生へはより良い利用法のPR。

(山形県・60代・男性)

警察、行政等への通報により指導、警告を実施する。

(兵庫県・60代・男性)

家庭での意識が低く、自分の子は大丈夫という観念が強く中々進みません。学校とより多く協力し合いながらPTAを動かしていくのが一番いいと考えます。

(佐賀県・60代・男性)

NTT 他大手通信会社、プロバイダーの健全な倫理感、自主的な規制などは大きな利益を生み出す。通信手段の発達、普及してしまった現在においては望むことは出来ない。青少年のもつと思われる携帯電話には、始めからフィルタリング機能が組み込まれたものしか販売できないよう法制化する。パソコンも個人のパスワードを指定し、青少年にもパスワードを出し、有害サイトが見られないようにする。国も自治体も、企業に遠慮しているのか、もっと強い規制を望みます。

(東京都・50代・男性)

有害サイトの取り締まり強化、発信者への罰則と共に、小さい頃からの道徳教育が家庭、教育現場それぞれに必要。

(東京都・40代・女性)

携帯電話を契約する際に、使用者が18歳未満である事が分かっている場合には、契約の段階で必ずフィルタリングの導入を義務付けるように、携帯電話会社に導入の促進で働きかけることが重要ではないか。大阪府では全生徒に持たせない方向で検討しています。

(大阪府・60代・男性)

個々から行政にTELするのはいかがかと思います。例えば(勘違い)(見聞ちがい)。行政の方からお忙しいでしょうけど、TELが欲しいです。

(宮崎県・60代・女性)

仕事上のメールでも「迷惑メール」を完全に止めることができません。大阪のように学校には携帯を持ってこないなどの具体的方法を取ると良いと思う。

(東京都・50代・男性)

未成年者への携帯電話は、フィルタリングを完全義務付けにする。

(富山県・50代・男性)



中学生に携帯電話は学校に持参しないように、またフィルタリングを導入するように生徒、保護者に指導しているが、保護者の認識は浅い。今後、中学生の携帯電話の普及は避けられないので、教員、保護者、地域の社会教育指導者が情報教育の研修を積み上げ、情報教育の観点から指導していく必要がある。

( 島根県・60代・男性 )

保護者が求めるのは電話機能、生徒が求めるのはインターネット、メール機能であり、フィルタリングでは解決できない。GPSと電話機能だけの携帯電話を親の責任で待たせる。業界の方針は料金体系にはっきり現れている。家庭間の通話は無料だが、インターネット機能は使い放題で5000円。つまりインターネットやメールを使ってくれないと利益が出ない。しかも大人の人口は限られているが、子どもはこれからも増える。

( 鳥取県・50代・男性 )

家庭教育の充実を進める。

( 岡山県・50代・男性 )

家庭・社会への啓発活動の促進。特に、携帯電話、インターネット等を製造発信する企業への指導強化による法令の改正等へ。

( 鹿児島県・60代・男性 )

フィルタリングソフト開発して、20歳以下の者が携帯を購入時に入れて販売。

( 静岡県・50代・男性 )

携帯電話の場合、使い方をよく教える事。無駄な機種をつけたものを子供に持たせない。

( 山口県・60代・女性 )

有害サイトの公表とワンクリックなどには罰則を作ること。

( 福井県・50代・男性 )

携帯電話会社へのモラルの指導。

( 和歌山県・60代・男性 )

有害環境があまりにも簡単にインターネット上で誰でも見られるので、それを何かの方法で閲覧できない方法はないのでしょうか？

( 香川県・50代・女性 )

長野県企画部文化課(県民会議)では、「ひまわりっ子セイフティーンズ」推進事業として3年間かけて(1)親子で学ぶセイフネット講座、県下小・中学校の親子対象に20回限度に18年は、17回1,390人、19年は、24回3,755人、20年は、20回6,464人受講。合計で11,609人。(2)大人が学ぶセイフネット講座。県下の保護者・教員・地域住民を対象に小・中・高校等で14回めどに実施して、18年度は、計画が遅く、PR不足でなし、19年は、14回939人、20年は、14回で2,024人、合計2,963人の参加者がいたと報告をうける。(3)インターネット・携帯問題を考えるフォーラムを県内、1箇所を選んで開催。18年は、500人、19年は、285人、20年は、106人の参加者があり、合計891人の受講者。私も県民会議監事・県少年警察ボランティア協会会長の立場で近くの開催時は出来る限り出席しました。また、パネラーになり出席した時もありました。県内の開催地は、地域的に平均して開催できなく、関心の高い高等学校は(1)(2)の取り組みは良いが、中学校は、イマイチ、小学校はあまり関心がない。今後、小学校・中学の保護者対象にPTA活動の年間事業に組み込み、インターネット・携帯電話に関する有害環境対策としつけ講座の開催をお願いすべきと思う。地域住民対象は本来なら、市町村民会議が先頭に立ち、やるべきですが、組織力の弱体で、実現出来ないのが現状です。市区町村の生涯学習担当が、人権学習を兼ねた勉強会を開催すべきだと思うが、思っただけで、5~6年が過ぎてしまった。これから携帯電話を持たせようとする親や孫に買って与えて、良いおじいちゃんになろうとする家族。便利だからと買い求めた、一般成人を対象に教育すべき。地域によりそれぞれ差はありますが、それを推し進めるリーダーの教育が緊急課題と思う。政府の有害情報対策推進会議も大切ですが、地域で活躍する推進役員が平成の合併以後減少する。もしいても、役員が、1~2年で交代してしまい継続性がない。底辺まで浸透して欲しい適切なセフテネット活用・啓発策定計画は推進役員が居ないと中途半端に終わりそう。国民会議・県民会議と素晴らしい組織がありながら、市町村段階で解体しそう。国・県の行政レベルで青少年健全育成推進委員の委嘱制度を作ると、当て職でなく、ある程度長く人材育成出来ると思いますか? 役員のお願ひも直接推進委員として出来る。会則にも「青少年育成推進委員0名」と定めお願いできる。

(長野県・70代・男性)

明確な法規制と罰則の強化。携帯電話とインターネットの内容は更に進化を続け、低年齢から中毒症状に陥っている危険な状況は拡大していきます。作る側、売る側の大人に対して有害な内容、機能の発信、操作を止めさせる厳しい法規制と罰則の強化が必要。

(福島県・60代・男性)

深夜徘徊、バイクの爆音暴走行為等をもう少し初歩的な段階で厳しく取り締まりをしなければ。今は手遅れになってからの取り締まりになっている。

(徳島県・60代・男性)

携帯電話の無秩序な氾濫を見逃すことによる、青少年の人格形成への悪影響は見過せない。親の責任に委ねることも限界である。中学生以下には販売、入手できない法規制が必要。

(山形県・50代・男性)

小・中学生が所有する携帯電話には、法的規制をかけるべきである。フィルタリング等、親・企業の責任として規制すべき。

(鳥取県・50代・男性)

携帯電話、雑誌、ビデオ、DVD等販売する側への規制(強制力のある規制)が望まれる。フィルタリングにしても安全とはいえない面もある。また、出版社の良識のある対応を要望したい。それがかなわないのであれば、該当の出版社への法的措置を望む。

(青森県・50代・男性)

教育現場で保護者と協力し、有害環境に対する危険性を説明する機会を作り青少年自身に認識してもらう事。

(愛知県・60代・男性)

今後は保護者対策。

(大分県・60代・男性)

子供が使用する携帯電話等、通信機器において有害サイト(インターネット等)に簡単に接続できない設定にするなどの規制を携帯電話会社が政府の指令の元を実施する。

(大阪府・40代・女性)

心地よい人間関係の体験や仲間作り、信頼し会える時間、空間の共有が最も必要。青少年には有害と分かっているのに確認しあい、遠ざけあう人間関係が少なすぎると思う。青少年自らが取り組める方策がもっとも必要。現場からの声を集める(相談、報告の窓口など)。

(東京都・50代・女性)

子どもが目にする場所(コンビニ等)には、成人雑誌等の有害物を一切置いてはいけないことにする。

(茨城県・40代・女性)

携帯電話の小・中学生への対応をなしにする。見せたくない物があまりに多すぎる。

(茨城県・60代・女性)

携帯、パソコンを買い与える前に親子間の十分な話し合いをする。

(福島県・60代・女性)

小・中学生への販売については、フィルタリングを義務化すること。

(山形県・50代・男性)

情報提供者に対する規制の強化。

(愛媛県・50代・男性)

義務教育の現場でのメディア教育の徹底(児童・生徒/保護者、双方へのアプローチ)。

(茨城県・30代・女性)

TV等の情報周知。

(匿名・50代・男性)

料金設定の取り決めをし、検索をさせない。

(茨城県・匿名)

神戸市でも携帯電話のフィルタリングサービスを利用するように、保護者に呼びかける様  
にしている。持たせるか、持たせないかについての議論を深め、保護者の意識改革をはか  
る必要がある。

(匿名・60代・男性)

子供達の持つ携帯の機能を制限したらよい。

(匿名・40代・女性)

TVの放送時間帯によって、言葉のフィルタリングが必要では・・・。

(東京都・40代・男性)

子供達に携帯を持たせるならそのための教育をして欲しい。

(宮城県・70代・男性)

18才未満には携帯電話不要と思います。

(宮城県・60代・女性)